

# 地区高校新人大会第2位

## 県高校新人大会出場へ！

11月3・4日に、地区高校新人大会が東桜学館高校体育館を会場に開催されました。

本大会は初日に6チームをA・B組の2グループに分けた予選リーグで試合を行い、2日目に準決勝・決勝が行われました。

予選リーグ1試合目は新庄神室産業高校との対戦。第1ピリオドからディフェンスリバウンドからの速攻や、中盤からのディフェンスにより相手側のミス突き、65-20と差をつけ、全員が出場し危なげなく勝利を得ました。2試合目は新庄北高校との対戦。第1ピリオドでは差が7点と1桁リードを奪い、第2ピリオドでディフェンスリバウンドの保持からの速攻や、ドライブからの得点も着実に重ね、42-19の差で折り返しました。後半では、ディフェンスの甘さやイージーシュートミスも響き差を広げられない展開となりましたが、前半のリードを保っての勝利を得てB組1位で準決勝に進みました。

準決勝の村山産業高戦では、第1ピリオドで10点差をつけ好スタートを切りましたが、第2ピリオドでは、積極的なディフェンスを見せるものの、ちょっとしたスキから3点シュートでの失点や、フリースローでの失点も増え、差を広げることもなく39-27で折り返しました。後半も差を広げる機会もありましたが、オフェンスのイージーミス等もありヤキモキする時間帯も経験しました。結果は20点差をつけての勝利でしたが、試合全体を通してリバウンド数を上回ったことが勝因でした。

決勝は新庄東高との対戦。9月の対戦では相手が3年生も出場していたこともあり、為す術なく敗戦しました。第1ピリオドでは、相手のオフェンスに対応に苦慮しファウルを増やす状況ながら、ミドルシュートや3点シュートで応戦し19-18と初めてリードする展開となりました。しかし第2ピリオドで相手のハーフライン沿いのトラップにはまる回数も増え、逆転を許し7点差のビハインドとなりました。気持ちの切り替えをして後半に臨みましたが、攻撃も単調、そして相手の中外のシュートも高確率で入り一気に差を広げられ、力及ばず敗戦しました。

今大会では、9月の反省にあったリバウンド・ルーズボールに対して意識を高めることをひとつの目標としていました。試合・時間帯によってその姿勢が見られるようになってきたのは成長だと思います。しかし地区を制するためには、オフェンスの厚みや1対1でのディフェンスの強さをもっとつけないといけないと再認識しました。来年1月12・13日には県の新人大会が開催されます。11月の残りは2年生の研修旅行や期末考査と、部活動が出来る時間も制限されますが、普段の練習に精を出していきたいと思います。

結果は以下のとおりです。

### 予選リーグ

東桜学館高	88	-	44	新庄神室産業高
東桜学館高	70	-	44	新庄北高

### 準決勝

東桜学館高	75	-	54	村山産業高
-------	----	---	----	-------

### 決勝

東桜学館高	55	-	85	新庄東高
-------	----	---	----	------

結果 第2位